



T-Lion Voice Home

T-Lion (The Triumphant Lion: ザ・トライアンファントライオン)
※Triumphant=「勝利を得た」「意気揚々とした」の意

第17号

- 令和5(2023)年度 社会貢献活動に関する各種の取り組み
- 令和5(2023)年度 公開講座等実施報告

スポーツ活動を通じた共創社会の実現に向けて

まず初めに、令和6年度 能登半島地震により多くの尊い命が失われたことに哀悼の誠を捧げるとともに、被災された地域のみなさまが一日でも早く心穏やかに過ごせる日が訪れますよう、心よりお祈り申し上げます。

2022年3月に第3期スポーツ基本計画が策定され、今後5年間のスポーツ政策の方向性が示されました。同スポーツ基本計画では、これまでの「する」「みる」「支える」といったスポーツへのアプローチをベースに、新たに「スポーツを『つくる/はぐくむ』」、「スポーツで『あつまり、ともに、つながる』」、「スポーツに『誰もがアクセス』できる」、といった視点が加えられました。

2019年12月に発生した新型コロナウイルス感染症の拡大はパンデミックを引き起こし、私たちの暮らしにも大きな制限がかけられることになりました。これはスポーツ界においても大きな障壁となりましたが、一方ではスポーツの意義や価値に一石を投じ、人生100年時代における生き方そのものや健康であることの意味を再考する契機となりました。

また、たび重なる災害発災の中では災害復興スポーツボランティアの活動にも注目が集まっています。復旧活動や避難所支援、生活再建等、復興の過程において身体・運動・スポーツ文化が果たす役割は必要不可欠であること、コミュニティ再建では地域に根差したスポーツ活動が人と人をつなぐ網目にもなり得ることを示しています。

「スポーツによる地方創生、まちづくり」や「運動部活動の地域移行」といった取り組みも、スポーツ活動と地域を結び付けつつ社会課題の解決を試みようとするものです。このようにスポーツと社会は密接であり、スポーツの社会的役割にますます期待が寄せられています。

2014年よりスタートした社会貢献推進機構の活動も今年度で10年目を迎えました。創設当初は5講座・教室だった活動も、現在では24講座・教室（開講回数約50回）を数えるまでになりました。テーマも「スポーツ体験」をはじめ、「体力測定」「災害対応」「学術セミナー」等多岐にわたり、参加者とスポーツとの関わり方も様々です。

今後は、これまで培ってきた社会貢献活動の実践を基軸にしながら、さらに立場を越えた多様な人々が社会貢献活動に参画し、共創的（コ・クリエーション）に関わり合う場をもつことで多角的な視点が生まれ、地域・社会の側にもスポーツの側にも新しい価値・変化がもたらされるのではないのでしょうか。

地域に開かれた大学としての存在意義を、社会貢献活動を通じて発信し続けていきたいと思ひます。



社会貢献推進機構 連携推進担当
社会貢献活動委員会委員長
児童スポーツ学部 准教授

亀山 有希

「T-Lion Voice Home」第17号（令和6年2月発行）

発行：日本体育大学社会貢献推進機構 スポーツプロモーション・オフィス

【東京・世田谷キャンパス】〒158-8508 東京都世田谷区深沢7-1-1

TEL：03-5706-0911(直通) FAX：03-5706-0981

【横浜・健志台キャンパス】〒227-0033 神奈川県横浜市青葉区鴨志田町1221-1

TEL：045-507-1263(直通) FAX：045-507-4556

両キャンパス共通メールアドレス：shakaikouken@nittai.ac.jp



社会貢献推進事業

社会貢献活動に関する各種の取り組み

体育・スポーツ活動支援

体育・スポーツ活動支援として、教育現場では水泳指導補助員、学習・行事支援、部活動支援や演技披露・指導を行いました。例えば、ラクロス部は都立東大和高等学校の体育授業で競技体験指導、陸上競技部は世田谷区立中学校陸上競技大会、児童スポーツ教育学部は世田谷区小学校連合運動会で会場設営や計測を行いました。また、地域のスポーツイベントでは、救護等運営補助や演技披露・指導を行いました。例えば、中里北部連合町内会ふるさとマラソン大会では救急医療学科、湘南国際マラソンではライフセービング部が救護活動、青葉区民マラソンでは陸上競技部5名がペースメーカーを務め、チアリーダー部、ブラスバンド部、応援団がエールを送りました。横浜マラソン車椅子チャレンジではスポーツマネジメント学部や整復医療学科の授業として学生らが参加しました。府中市白糸台体育館のスポーツイベントにダブルダッチ部やソングリーディングクラブが演技披露後に指導、若草台地区センターのバドミントン教室ではバドミントン部が指導しました。講師派遣の例として、中央区スポーツ指導者養成セミナーに矢野広明助教、横浜市立恩田小学校の学校保健委員会に鈴木康介助教、横浜市立六浦南小学校の授業に伊藤謙教授・柔道整復師3名を派遣しました。体育・スポーツ活動支援に教員・学生延べ344名派遣しました。



ダブルダッチ演技披露



ペースメーカー

教育活動支援、ボランティア等

教育活動支援としては、世田谷区・横浜市をはじめ、目黒区・北区教育委員会、東京学校支援機構（TEPRO）、各学校から宿泊を伴う引率補助や年間を通して学習支援を行いました。教職を志す学生にとってこのような活動は貴重な体験になります。ボランティアとしては、地域のイベント運営補助を行い、地域の方々との交流を深めました。例えば、桜新町さくらまつり・鴨志田夏祭り・深沢ぎんなんまつり（寮生）、若草台自治会子ども向けイベント・青葉まつり（硬式野球部）、すみよし台自治会秋まつり（レスリング部によるエッサッサ※）など。その他、研修で訪れた、ふくいジュニアアスリートアカデミー小学6年生には、福井県出身学生が施設や部活動を案内しました。教育活動支援、ボランティア等に教員・学生延べ343名派遣しました。※日体大独自の応援スタイル



施設案内

地域美化活動

学友会総務部を中心にクラブ・サークル学生が行う清掃活動「クリーン作戦」は、海浜実習地の千葉県・岩井海岸（16団体48名）、横浜・健志台キャンパス（17団体34名）にて行われました。東京・世田谷キャンパス周辺では寮生が桜新町親和会春・秋ゴミゼロデー（20名）、深沢地区古着・古布回収（17名）に参加しました。横浜・健志台キャンパスに隣接するグリーンヒル鴨志田西団地自治会との清掃は雑草等の刈込や側溝の汚泥の除去等を年4回行っており、6月水泳部、10月研修部、12月アーチェリー部（計34名）が参加しました。次回は3月3日を予定。青葉台商店会フラワーロード花植え活動は6月ラグビー部、11月野球部（計31名）が参加しました。



清掃

防災訓練等

社会貢献推進機構は横浜市青葉区との災害対策に関する連携協定及び大学に隣接の自治会との減災応援協力に関する覚書に基づき、地域・行政が連携して地域防災力を向上し、減災を目指す実践的な訓練を実施しています。10月28日（土）に青葉区役所、青葉消防署、東急バス株式会社、イツ・コミュニケーションズ株式会社、近隣6自治会（鴨志田町内会、鴨志田緑自治会、グリーンヒル鴨志田東団地自治会、グリーンヒル鴨志田西団地自治会、横浜市営鴨志田住宅自治会、寺家町内会）の協力により実施しました。今年度は近隣6自治会だけでなく、横浜市青葉区在住・在勤・在学の方から参加を募り、29名が初期消火訓練、段ボールベッドと間仕切りの設営、心肺蘇生法とAEDの取扱いの実技、災害トリアージ訓練とVR体験を行いました。また、10月14日（土）に開催された美しが丘連合自治会防災訓練では、救急車の展示や星光長・齋藤達教員（救急救命士）が救命活動の説明を行いました。



段ボールベッドの設営

公開講座

令和5年5月に「公開講座等の実施における新型コロナウイルス感染症に係る個別マニュアル」を策定し、開講回数や定員を増やすなど、昨年度より緩和して実施しました。成人・高齢者の方は、トレーニング、エアロビクス、テーピング、キャンプ、膝痛・腰痛予防体操、ウォーキング指導講座などでスポーツやレクリエーションを楽しみました。児童や生徒に向けて、短距離走教室、ゴールデンエイジの身体づくり、少林寺拳法、フェンシング、テーピング、トランポリン、スポーツデータ分析の講座を開講し、申込開始してすぐに定員に達する講座もありました。また、救急救命医の経験から命の大切さを伝える講座など防災・救急関連講座を拡充しました。延べ1,271名（1月末現在）が受講しました。



短距離走教室

社会貢献活動 (ボランティア)の 依頼について

地域や学校等で体育・スポーツの各種活動などにおけるボランティア派遣をご希望される場合は、本学ホームページ（<https://www.nittai.ac.jp/>）にアクセスし、「大学案内」→「大学の取り組み」→「ボランティア派遣」から「社会貢献推進事業依頼書」をダウンロードし、必要事項を記入の上、メールまたはFAXにてご依頼ください。なお、依頼書をご送付いただいた後からお返事までは、通常1～2週間要すること、またご依頼行事の内容によっては、派遣そのものが困難になることもありますので、予めご理解・ご了承ください。

体力測定

体力測定は11月3日(金)、4日(土)、5日(日)に東京・世田谷キャンパス(日体フェスティバル企画)、11月11日(土)、12日(日)に横浜・健志台キャンパスで開催しました。例年、地域の方々の健康寿命延伸に向けた取り組みとして実施しています。形態測定と、血管年齢や骨密度などの心機能測定、30秒椅子立ち上がり、握力、6分間歩行などの体力を併せて測定することで、現在の自身の健康体力を知り、今後の健康・体力づくりに活かすことができます。令和5年度は昨年度から定員を160名増やし、40歳以上を対象に事前予約制(抽選)で行われ、両キャンパス合わせて517名が参加しました。体育研究所の岡本孝信教授、菊池直樹准教授、橋本佑斗助教、ゼミ生、大学院生、一般学生の協力のもと実施され、測定データを活用した研究成果はポスターにして会場内に掲示し、個々の質問に答える場面もありました。



6分間歩行

日体大スポーツフェスタ2023 (小学生向けスポーツ体験教室)

小学生対象のスポーツ体験教室「日体大スポーツフェスタ」は夏にも開催し、7月30日(日)、12月23日(土)に東京・世田谷キャンパス、12月9日(土)に横浜・健志台キャンパスで開催されました。大学ホームページや地域広報誌への掲載のほか、世田谷区、世田谷区スポーツ振興財団、横浜市にぎわいスポーツ文化局、横浜市スポーツ協会、横浜市教育委員会の後援を得て、近隣の小学校にチラシを配布しました。多数の応募のため抽選により計342名が参加しました。野球、バドミントン、ハンドボール、トランポリン、レスリング、ラクロス、ダブルダッチ、ビーチボールバレー、アルティメット、セパタクロ、少林寺拳法、新体操、ニュースポーツ、キンボール、ライフセービング、心肺蘇生法から3,4種目を含む指定されたコースを選択して約2時間かけて体験しました。学生は体験教室の指導や児童の引率をすることで児童と交流しました。一部の学生は企画運営にも携わりました。会場では日体大マスコットの「レオ丸」がみんなを応援し、体験終了後はみんなと一緒に写真を撮ってもらいました。



その他トピックス

●海や川での事故防止啓発講習会 (講師：海上保安庁第三管区海上保安本部)

7月9日(日)に海上保安庁第三管区海上保安本部と日本体育大学との包括連携協定に基づく社会貢献活動として、小学生及びその保護者を対象に実技を交えて海難事故防止に関わる講習会が開催され、海や川で遊ぶときの注意点やライフジャケットの着用方法を学びました。(参加20組)

●スキルアップセミナー「ボランティア活動はじめての一步」

7月11日(火)、15日(土)に選択プログラムの一つとして、社会貢献活動啓発プログラムを開催しました。学生同士の触れ合いやボランティア経験豊かな先輩学生との語り合いを通して、人との交流が互いに成長し合うことを知り、ボランティアへの積極的な参加につながる事がねらい。

1年生286名が参加しました。講師：田中信行教授、亀山有希准教授

先輩学生：(4年)宮下航希、林珠嬉、田沼翔吾 (3年)西健太、竹島怜奈

●第60回体育研究発表表演会

11月15日(水)に横浜アリーナで「Power of Sports」をテーマとし、アルティメット、エッサツサ、剣道、集団行動、少林寺拳法、新体操、ソングリーディング、体操、チアリーダー、ハンドボール(五十音順)の演目を披露し、日体大生の活気に満ちた姿を届けました。

来場者数は11,000名、地域住民の方1,000名を招待しました。

●青葉6大学連携特別講座

青葉区が区内6大学との協定による連携事業の一つ。今年度は子育て世代を対象に各大学の特色と魅力が伝わる講座になりました。12月10日(日)に齊藤多江子教授が「乳幼児の発達と保育ー保育園や幼稚園で子どもの何を育てようとしているのかー」と題し、日本の乳幼児教育について講義しました。

●事業受託

本学が持つ知的・人的資源を活用し、様々な分野での運営管理等業務を受託しています。今年度は中央区「スポーツの楽しさ発見事業」、足立区「幼児期の運動習慣向上のための運動遊び実施等」、三鷹市「子ども運動チャレンジ教室」を受託し、児童スポーツ教育学部等の教員や学生を派遣しました。

●自治体連携協定推進事業

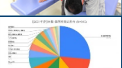
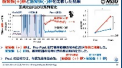
学校法人日本体育大学は「体育・スポーツ・健康づくり」の各分野における一層の発展と更なる社会貢献をはかることを目的に、全国78の自治体と連携協定を締結しています。(令和6年2月現在)令和5年度は派遣事業として教員によるスポーツ指導者研修会やスポーツ教室、学友会団体によるスポーツクリニックや練習・公開試合、受入事業として中学生らが模擬授業を体験しました。

●被災地支援

令和6年能登半島地震において、救急医療学科の教員5名は、公益社団法人全日本病院協会AMAT(全日本病院医療支援班:All Japan Hospital Medical Assistance Team)の日本医科大学・日本体育大学合同チーム(3次隊)として救急車で被災地へ向かい、避難所等において医療支援を行いました。



令和5(2023)年度公開講座等実施報告

日 時	講座名・講師	イメージ	会 場	対 象	受講料	概 要	受講者数
5/6(土) 9/2(土) 10:00~11:30	スポーツ救急 VRを使用した救命蘇生講習会 保健医療学部 准教授 鈴木 健介		横浜・健志台 キャンパス	一般 小学生 中学生 高校生	各回 1,000円 小学生 500円	心肺蘇生の必要性。VR動画で救急現場の様子をリアルに体験。胸骨圧迫とAEDの練習。最新情報の提供。	24名 18名
5/14(日) 5/20(土) 5/27(土) 9/30(土) 10/28(土) 11/12(日) 10:00~11:30	速く走るコツを身に付けよう！ 小学生の短距離走教室 児童スポーツ教育学部 助教 鈴木 康介		東京・世田谷 キャンパス	小学 3~6年生	各回 500円	短距離走の技術指導。基礎技術の捉え方、疾走時の姿勢のつくり方、脚動作、腕振り動作、スタートの技術。	17名 19名 14名 20名 18名 19名
5/27(土) 6/24(土) 7/29(土) 9/30(土) 10/28(土) 11/25(土) 12/16(土) 10:30~12:00	らくらくエアロビクス 非常勤講師 大津 桂子 佐藤 果純 山口 圭子		東京・世田谷 キャンパス	一般	各回 1,000円	健康、体力づくりを目的とした講和、運動。ストレッチ、エアロビックダンスエクササイズ、クールダウンストレッチ。	31名 22名 32名 33名 29名 32名 34名
有酸素 6/10(土) 11/18(土) 筋トレ 6/25(日) 12/3(日) 14:00~16:00	トレーニングのすゝめ (有酸素運動、筋トレの基礎) 体育学部 准教授 菊池 直樹		東京・世田谷 キャンパス	一般 高校生	各回 1,000円	有酸素6/10、11/18：有酸素運動の重要性、ファルトレクトレーニング 筋トレ6/25：筋力の重要性、自重、サーキット 筋トレ12/3：ランニング動作改善トレーニング	有酸素 19名 18名 筋トレ 21名 27名
横浜・健志台 6/24(土) 東京・世田谷 12/10(日) 9:00~12:30	救急救命士・防災士から学ぶ 災害への備えと対応 保健医療学部 准教授 中澤 真弓 救急救命専門指導教員ほか		東京・世田谷 横浜・健志台 キャンパス	一般 小学生 中学生 高校生	各回 1,000円 小学生 500円	災害時の医療体制、ロジスティクス、健康管理の講義や応急手当の実技。各回4つのテーマで伝えた。	25名 17名
6/25(日) 10:00~12:00	膝痛さようなら体操教室 スポーツケアセンター院長 保健医療学部 教授 伊藤 謙 柔道整復師		横浜・健志台 キャンパス	一般	1,000円	健康寿命、フレイルや要介護にならないための講義、セルフチェック、ストレッチ、大腿四頭筋等のトレーニング	16名
7/1(土) 14:00~15:30	ケガの予防トレーニングと簡単テーピング講座 保健医療学部 准教授 上倉 将太		東京・世田谷 キャンパス	一般 学生トレーナー 部活動指導者	1,000円	体幹トレーニング、股関節可動域獲得のためのストレッチ、キネシオテープでスポーツ活動をサポートする方法の実技。	17名
7/2(日) 1/6(土) 初級:13:00~14:30 中級:15:00~16:30	オリンピック選手が教えるフェンシング教室 フェンシング部部長 依田 充代 フェンシング部監督 桐谷 乃宇奈 リオ・東京五輪代表 徳南 聖太ほか		東京・世田谷 キャンパス	小学生 中学生 高校生	初級各回 1,000円 中級各回 2,000円	初級：フェンシングの紹介、フットワーク、剣をつく体験、選手の模擬試合見学 中級：フットワーク、グリーブス、ファイティング等	初級 18名 16名 中級 15名 25名
7/3(月) から 週2日 全8回 事前・事後測定あり	筋トレ塾 体育学部 准教授 菊池 直樹		東京・世田谷 キャンパス	一般	無料	4週間で8回の筋力トレーニングおよび30分の有酸素運動を、通常有酸素群と高強度インターバル群に分けて行った。	45名 (延345名)
7/8(土) 14:00~15:30	高校生のためのケガの予防 トレーニングと簡単テーピング講座 保健医療学部 准教授 上倉 将太		東京・世田谷 キャンパス	高校生 小学生 中学生 保護者 学生トレーナー 部活動指導者	1,000円 小学生 500円	体幹トレーニング、股関節可動域獲得のためのストレッチ、キネシオテープでスポーツ活動をサポートする方法の実技。	12名
7/9(日) 10:30~12:00	海や川での事故防止講習会 海上保安庁第三管区海上保安本部		横浜・健志台 キャンパス	小学生 およびその 保護者	無料	海上保安官により、座学「海で遊ぶ場合の注意点」と実技「ライフジャケット」の正しい着用方法を実施。	20組40名
7/15(土) 7/29(土) 10:00~11:30 11/11(土) 11/18(土) 2/17(土) 2/24(土) 9:30~10:30	トランポリン教室 体育学部 准教授 山崎 博和		東京・世田谷 キャンパス	小学生 中学生 高校生	各回 1,000円 小学生 500円	オリンピック公式器具を用いての体験。準備体操、着地方法と姿勢、様々なジャンプの体験、選手の演技披露。	28名 30名 19名 24名 (2/17、2/24未開催)
東京・世田谷 7/30(日) 横浜・健志台 12/9(土) 東京・世田谷 12/23(土)	日体大スポーツフェスタ2023夏 日体大スポーツフェスタ2023冬		東京・世田谷 横浜・健志台 キャンパス	小学 1~6年生	無料	少人数のグループに分かれ、学生の誘導により、夏3種目、冬4種目のスポーツを体験。各競技団体の学生が指導した。	世田谷 90名 134名 健志台 118名
7/30(日) 10:30~12:00	高校生のための栄養学 身近な食を考えよう 体育学部 助教 安達 瑞保		東京・世田谷 キャンパス	高校生 保護者	1,000円	栄養学の観点から日常に活かせる知識・習慣について考える講座内容だったが、最少催行人数に満たなかったため中止。	中止
8/5(土) 8/8(火) 8/10(木) 9:00~12:00、13:00~16:00	スポーツデータを用いた夏休みの自由研究 ～小・中・高校生を対象としたスポーツデータ分析講座～ 体育学部 教授 大石 健二 図書館長 木村 直人		東京・世田谷 キャンパス	小学生 中学生 高校生	各回 1,000円 小学生 500円	午前の部：軽運動(ドローキックと50m走)で自分の心拍数等を測定し分析。 午後の部：考察、文章と図を印刷製本。	午前(午後) 20(18)名 24(22)名 15(14)名
8/20(日) 10:00~12:00	今こそチャンス！ゴールデンエイジの身体づくり ～運動能力を向上させるコンディショニング～ スポーツケアセンター院長 保健医療学部 教授 伊藤 謙 柔道整復師		横浜・健志台 キャンパス	小学 4~6年生	500円	講義、セルフチェック、コーディネーショントレーニング、リアクショントレーニング、リレーを行った。	22名
9/2(土) 13:00~14:30	災害時の対応講習会 災害図上訓練 DIG 保健医療学部 准教授 鈴木 健介		横浜・健志台 キャンパス	一般 小学生 中学生 高校生	1,000円 小学生 500円	青葉区における街の構造、避難場所、危険箇所等を地図に書き込み、街の特性を理解して、被害や対策を検討した。	17名
9/2(土) 16:00~17:30	災害時の対応講習会 避難所運営 HUG 保健医療学部 准教授 鈴木 健介		横浜・健志台 キャンパス	一般 小学生 中学生 高校生	1,000円 小学生 500円	避難所で起こる様々な出来事をカードゲームで模擬体験。話し合って部屋割りを考え、避難所の運営を学んだ。	14名
9/23(土) 10:00~12:00	いきなりデスからの回避法を教えます。 保健医療学部 教授 小川 理郎		横浜・健志台 キャンパス	一般 小学生 中学生 高校生 消防職員	1,000円 小学生 500円	不慮の事故や突然死の中には、避けられた死亡が多数存在する。命の大切さや対処法、生活の送り方を提言した。	17名
9/30(土) 10/21(土) 10/28(土) 10:00~12:00	たのしくて安全なキャンプ講座 スポーツマネジメント学部 准教授 高荷 英久		横浜・健志台 キャンパス	一般 小学生 中学生 高校生	各回 1,000円 小学生 500円	①キャンプ道具の選び方は、最少催行人数に満たず中止。②テント等の立て方、ロープワーク③薪割り、焚き火方法等	①中止 ② 7名 ③12名
東京・世田谷 11/3(金)~11/5(日) 横浜・健志台 11/11(土) 11/12(日)	体力測定		東京・世田谷 横浜・健志台 キャンパス	一般 (40歳以上)	無料	形態測定、血管年齢、全身反応時間、30秒椅子立ち上がり、握力、8フィート歩行、長座体前屈6分間歩行、骨密度、認知機能。遺伝子検査とカウンセリングは希望者。	362名 155名
11/19(日) 10:00~12:00	歩いて健康!元気に楽しく! 日体大ウォーキング スポーツケアセンター院長 保健医療学部 教授 伊藤 謙 柔道整復師		横浜・健志台 キャンパス	一般	1,000円	健康寿命やウォーキングの効果についての講義、正しいフォームの指導、キャンパスの広大な敷地をウォーキング。	24名
1/20(土) 10:00~12:00	少林寺拳法を体験してみよう! 少林寺拳法部 監督 勝田 真也 コーチ 小西 遼		東京・世田谷 キャンパス	小学生 中学生	1,000円 小学生 500円	礼儀・作法、基本的な突き・蹴りと簡単な柔法(抜き技)を中心に体験。	23名
1/28(日) 10:00~12:00	腰痛さようなら体操教室 スポーツケアセンター院長 保健医療学部 教授 伊藤 謙 柔道整復師		横浜・健志台 キャンパス	一般	1,000円	姿勢分析アプリを用いて姿勢を測定し、腰痛の用意や改善点について講義。ストレッチ、体幹、臀部、大腿部トレーニング。	22名
第1回 6/16(金) 17:00~18:00 第2回 7/21(金) 17:00~18:00 第3回 10/24(火) 17:00~18:00 第4回 11/29(木) 18:00~19:00 第5回 12/19(火) 17:30~18:30 第6回 1/26(金) 16:45~17:45	学術セミナー 主催：総合スポーツ科学研究センター、体育研究所ほか		東京・世田谷 キャンパス	一般 本学教職員 本学学生	無料	第1回：スポーツ障害の発症メカニズムと予防対策 体育研究所 助教 田村 曉大 第2回：体育授業における情報領域の学習成果を促進するための教師の行動と成功要因 スポーツ文化学部 助教 寺岡 英重 第3回：スポーツの倫理 なぜ大学でスポーツに打ち込むのか 体育学部 教授 関根 正美 第4回：光計測を用いた手技療法の12°/分施術効果の可視化への挑戦 保健医療学部 准教授 松田 康宏 複合条件での全身反応と課題における検証 保健医療学部 准教授 渡邊 孝 第5回：サバティカル研修報告～イスラエルにおける研究、競技、生活～ 体育学部 教授 岡田 隆 第6回：ユネスコ研究の高度化という取り組みの解決に向けた方法論の探求 スポーツ文化学部 教授 内山治樹	18名 18名 31名 10名 35名 9名